



滝小だより

滝頭小学校学校だより 2021st

令和3年9月1日

9月号

横浜市立滝頭小学校

校長 鶴飼 数夫

手をつなごう 笑顔いっぱい 大好き滝小

Hand in hands, Shining Smiles, We ♥ TKG



〒235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344、0345 Fax 045-761-9392

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/>

滝頭小 検索

WE HAVE WINGS

校長 鶴飼 数夫

新型コロナウイルス(=COVID-19)の爆発的な感染拡大により、夏季休業の延長および、分散登校・短縮授業という変則的な学校再開となりました。昨年度の全国一斉休校・夏休みの短縮という出来事から約1年たちましたが、デルタ株に置き換わった今回は、感染のレベルが桁違いです。横浜市内の児童

生徒を含む学校関係者の感染者数は、夏休み期間中だけで、既に昨年度1年間を上回っているという報告を受けました。このまま学校が再開されれば、学校という場面での人流が再び始まり、さらなる感染拡大という大きなリスクを背負うことになるのは明白です。横浜市では、現時点で可能な対応方針を出し、それに基づいて本日より学校が再開されました。間際になっての通知の発出や変更で、大変ご迷惑・ご心配をおかけいたしましたことお詫び申し上げます。本校においても最大限の危機感・緊張感をもって臨みたいと思えます。ご家庭におきましてもご家族の皆様も含めて、マスク・手洗いなどの基本対策を充分にとりながら、日々の健康観察を入念にお願いいたします。もし少しでも体調不良がありましたら、すぐにご連絡いただき、無理な登校は控えていただきますようよろしくお願いいたします。

そんなことがあった今年の夏休み。どこにも出かけることもなく、ただひたすらテレビにかじりつき、東京2020オリンピック・パラリンピックを観ていました。コロナ禍にあって、開催そのものや学校観戦プログラム実施の可否など、世論は大きく分断され揺れに揺れた大会であったと思います。私自身も様々な思いをもって観ていました。しかし、その評価は、後に歴史的事実として判断されることになるので、今は、現在進行形で頑張っているアスリートたちの姿に素直に向き合いたいと思えます。

先に開催されたオリンピックにおいて、多くの感動のドラマが生まれ、空前のメダルラッシュやニューヒーローの誕生に日本中が沸きあがりましたが、私が心を奪われたのは、パラリンピックの開会式でした。

「WE HAVE WINGS(私たちには翼がある)」をテーマに、逆風でも「勇気を出して翼を広げることで、思わぬ場所に到達できる」ことを見事に分かりやすく表現していました。ストーリー仕立ての主人公である片翼の飛行機を演じた少女を中心に、出演・参加されたすべての皆さんの生き生きと躍動し表現する表情・姿に胸を撃たれました。個人的趣味で恐縮ですが、布袋寅泰さんと共にデコトラ上で演奏した全盲のギタリストが奏でたスーパーテクニクには腰を抜かすほど驚きました。その後のパラアスリートたちの超人的な活躍はもちろんです。今の自分に向き合い、その力を最大限に高めて発揮するという点で、オリンピックとの相違は全くありません。

「パラ」とは、ギリシャ語のPara、英語のParallelsに由来し、「並行」という意味から「対等」と解釈しているそうです。パラリンピックの創設者グッドマン博士は「失ったものを数えるな。残されたものを最大限に生かせ！」と提唱しましたが、私たちは「ないものを数えるな。あるものを最大限に生かせ！」とも読み替えることができます。今回の開会式において、IPCパーソンズ会長は、「違いは強みであって弱さではない。」と力強くメッセージを出しました。9月5日に行われる予定の閉会式のテーマは「Harmonious Cacophony(調和する不協和音)」。「違いがあることで対立が生じるのではなく、新たな未来が生まれていく。」 今から楽しみで仕方がありません。

家庭配布版には、
東京 2020 オリンピック・パラリンピックの公式エンブレム
を載せてあります。